

1. 件名：「GNS Gesellschaft für Nuklear-Service mbH 特定兼用キャスクの設計の型式証明申請に関する事業者ヒアリング【4】」
2. 日時：令和4年12月6日 13時30分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

戸ヶ崎安全規制調整官、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官

（核燃料施設審査部門）

甫出主任安全審査官※

GNS Japan 株式会社：

最高技術責任者 他2名

原燃輸送株式会社：

設計・開発部 開発 Gr アシスタントマネージャー 他1名

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、GNS から対面でのヒアリング開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和3年10月6日第36回原子力規制委員会 配付資料1）を踏まえ、対面で実施した。

## 6. その他

提出資料：

- ・資料1-1 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（第五、六条関連）
- ・資料1-2 補足説明資料 第五条 津波による損傷の防止 津波に対する安全機能維持に関する説明資料
- ・資料1-3 補足説明資料 第六条 外部からの衝撃による損傷の防止 竜巻に対する安全機能維持に関する説明資料

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	規制庁の松野です。
0:00:07	では時間になりましたので、GNSの型式証明の申請のヒアリングを始めたいと思います。
0:00:14	本日設置許可基準規則の 56 条関連ということで、
0:00:19	津波と竜巻の説明。
0:00:23	資料を用意していただきましたので資料に沿って説明をお願いいたします。
0:00:29	BSジャパンの三枝です。よろしくお願いします。
0:00:32	資料は 1-1 のパワーポイントの資料と 1-2 五条津波関係。
0:00:38	1-3、6 条を竜巻関係とございます。
0:00:42	パワーポイントの資料を中心に説明させていただきたいと考えます。
0:00:48	まず、パワーポイントの 2 枚目に、
0:00:51	この
0:00:53	構成として、指摘事項、コメントリスト。
0:00:57	それから、2 番目に第 2 章として、設置許可基準規則への、
0:01:02	適合性の概要で、3 章として、設置許可基準規則の適合性。
0:01:08	の詳細、第 5 条、第 6 条関係について説明いたします。
0:01:13	次のページに参りまして、指摘事項コメントリストですが、
0:01:18	これについては、
0:01:24	区別した資料で、改めて提出するというふうに考えております。
0:01:29	ざっとですが、よければちょっとこう、
0:01:32	パワーポイントで説明し、
0:01:34	1 番目は成功例を参考しなさいということでその通り。
0:01:39	考えています
0:01:40	2 番目が、国内の規則、
0:01:47	その通り考えて
0:01:50	番目が、
0:01:51	規制評価とか、
0:01:52	安全機能の評価等では、
0:01:55	解析コードを使う場合、
0:02:03	型式証明申請においては、解析コードを用いず先行例で用いられた応力評価式を用いる考えでございます。
0:02:12	4 番目に、
0:02:13	集合燃料集合体の配置を制限する収納条件。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:17	について説明
0:02:25	遮へい及び除熱のところの説明した。
0:02:29	5番目に、
0:02:32	発電用減少施設の範囲または条件の整理をするということで、
0:02:40	条件について、
0:02:42	一斉の範囲外とする事項。
0:02:47	16条についてはまだこれから。
0:02:52	次のページに参りまして、
0:02:55	6番の1、
0:02:57	これは臨界防止関係、6番に遮へい能力関係、
0:03:02	6番3公開、
0:03:06	その
0:03:08	中において、詳細を説明する計画でございます。
0:03:12	本日はありません。
0:03:13	6-4次のページに参りまして閉じ込め、
0:03:17	これにつきまして金属は、
0:03:19	大城
0:03:24	運用してる文献と、
0:03:29	それから実際の
0:03:31	使用条件と比較した上で説明するよというということで、
0:03:35	これにつきましては、
0:03:37	長期健全性を、
0:03:40	資料において詳細説明する。
0:03:42	考え。
0:03:44	同じくその区域として、
0:03:47	エンドウHについて整理しなさいと。
0:03:51	うん。
0:03:52	閉じ込め、
0:03:53	評価、
0:03:55	聞いての、
0:03:56	説明資料で説明させていただきます
0:03:59	6-5として、経年劣化、
0:04:06	キャスクの製造、これに関連してキャスクの製造場所を明確にする。
0:04:13	伊勢。
0:04:15	大木。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:21	そして、
0:04:23	6-5。
0:04:28	想定
0:04:31	名。
0:04:35	音声を
0:04:36	医療で説明するか。
0:04:43	そして、
0:04:44	中性子遮へい材の温度への温度の影響、これにつきましても、
0:04:49	補足説明資料別の
0:04:52	構造材料及び長期健全性のところで詳しく説明
0:04:59	何。
0:05:01	うちは、
0:05:04	としては、
0:05:06	キャスクの構造材料の資料の中で別途説明
0:05:12	7番目に、
0:05:14	設置許可基準規則、
0:05:18	丹治
0:05:20	津波竜巻、
0:05:22	係る構造健全性評価の手法。
0:05:24	三井。
0:05:25	説明する。
0:05:29	見られた応力評価式を用いるか。
0:05:33	次のページになりまして、
0:05:45	当時キャスク。
0:05:54	下部トランニオンのやや上の高さにつけられた。
0:05:58	円筒状の、
0:06:04	4君。
0:06:08	司法か。
0:06:12	キャップを固定する。
0:06:15	装置の構造は、詳細は人に対し、
0:06:30	A以上がコメント。
0:06:34	関係で、
0:06:37	水野。
0:06:38	設置。
0:06:44	苦情。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:47	による損傷の防止、防止という考えを説明します、構造健全性の関係。
0:06:54	施設、
0:06:58	次のページ
0:07:02	まず、
0:07:03	五条津波関係の、
0:07:15	経営方針とか、
0:07:28	やめる合理的
0:07:33	予測 20 名。
0:07:35	これで津波による遡上班の春、
0:07:38	それで漂流。
0:07:39	900トン。
0:07:41	衝突による
0:07:42	荷重が、
0:07:43	同時に作用する荷重、
0:07:45	作用しても、
0:07:47	定検、キャスクの安全機能がそこ
0:07:52	これは先行例と。
0:07:57	のページに参りまして、
0:07:59	大きく
0:08:01	の審査が、
0:08:02	2E対応するものですが、
0:08:06	まず、
0:08:08	設計方針として、
0:08:09	津波が特定兼用キャスクの設置位置へ遡上する。
0:08:14	評価を行い、
0:08:16	金城
0:08:17	構造規格、
0:08:23	荷重以外の荷重として、供用中に作用。
0:08:27	圧力荷重、
0:08:34	に津波波力、
0:08:38	採用、
0:08:49	漂流物衝突、
0:08:51	道路橋、
0:08:53	示方書納付
0:09:02	希望の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:04	昨日、
0:09:07	イトウの
0:09:09	最頻FM解析。
0:09:23	ページに参りまして今度第 6 条竜巻。
0:09:32	及びその解説。
0:09:42	告示で定められる竜巻。
0:09:47	による荷重、
0:09:57	代物。
0:10:01	を組み合わせた荷重条件に対して、
0:10:09	一方、
0:10:13	次のページに参りまして、
0:10:15	第 6 条の審査ガイド、
0:10:18	に関連して、
0:10:20	考慮する事前
0:10:22	検証等の設置
0:10:23	ですが、
0:10:25	竜巻が作用した場合の評価に陥る。
0:10:29	設計
0:10:32	風速、
0:10:33	飛来物は、
0:10:35	次の通り、
0:10:41	原子力発電所の
0:10:46	4、
0:10:49	そうします。
0:10:58	その辺、
0:11:02	荷重が作用する。
0:11:03	評価。
0:11:19	飛来物。
0:11:34	物の、
0:11:39	次に、
0:11:41	する。
0:11:43	既往の変更
0:11:44	事例や、
0:11:53	いずれ
0:11:58	次のページに参りまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:01	第 5 条。
0:12:03	関連する基本方針、荷重及び荷重の組み合わせ。
0:12:08	許容限界
0:12:12	の評価項目は、閉じ込め、臨界防止遮へい、除熱、
0:12:19	評価対象はそこにあります通り、
0:12:21	それぞれ日通筐体部、
0:12:24	それからバスケット、
0:12:29	はホールとと放熱品、
0:12:35	概ね弾性範囲。
0:12:38	それから、臨界防止については、弾性範囲
0:12:42	遮へいと除熱に関しては、
0:12:44	破断、衛生、
0:12:46	十分
0:12:47	言うを要する。
0:12:50	右の図は、キャスクの断面図になり、縦断面図
0:12:54	は、
0:12:55	ここではホール、
0:12:57	令和、
0:13:00	者名簿。
0:13:01	謝礼材は右が両脇に見えますが、
0:13:07	どうに開ける
0:13:10	この法律という
0:13:15	この脚注にあります臨界防止機能を担保する構成部材は、
0:13:20	修繕料を直接支持し、かつ燃料間距離を保つために、変形を許容しない部材、
0:13:31	次のスライドに参りまして、
0:13:36	津波の方ん。
0:13:38	静的解析について説明
0:13:44	してあるところ。
0:13:51	を示します。
0:13:53	9-1 とQ2 の、
0:13:55	図示されてますが 9-1 が津波の波力を表します。
0:13:59	それから、
0:14:00	9-2 というのは、
0:14:02	漂流物の衝突荷重を示します。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:06	それぞれA、
0:14:08	ちなみに悠空は、東。
0:14:12	大震災における津波による建築物被害を踏まえた津波、
0:14:16	避難ビル
0:14:18	公道上、
0:14:19	精神に示された。
0:14:21	評価式。
0:14:22	式によって計算いたします。
0:14:25	9-1 というのは、8.
0:14:33	ページに参りまして、
0:14:36	津波漂流物衝撃荷重の計算ですが、
0:14:40	これは道路橋示方書と解説に、
0:14:44	に示す。
0:14:45	評価式。
0:14:49	津波荷重、
0:14:52	9 は、うん。
0:14:54	漂流物衝突荷重 9-2 は 1.96 メガニュートンと計算されます。
0:15:01	よって、津波荷重はこの 9-1 と 9-2 を足し合わせた 5.51 メガニュートンとなります。
0:15:10	で、この津波、
0:15:11	荷重の約
0:15:13	95.51 メガニュートンは、
0:15:16	後で述べます竜巻荷重の 8.54 メガNEATより小さいので、
0:15:23	津波に対する、
0:15:25	機能維持評価は、竜巻荷重に対する、
0:15:28	機能維持評価に包絡されるという考えでございます。
0:15:35	だから、
0:15:38	津波、竜巻荷重に対する機能維持評価では、
0:15:44	何荷重が作用しても、密封境界部に生ずる応力は弾性範囲にとどまり、
0:15:50	一次蓋の横ずれは発生しない。
0:15:53	閉じ込め
0:15:55	また他助っ人に生じる応力は、
0:15:58	周燃料を直接支持し、かつ燃料間距離を保つために、
0:16:02	変形を許容しない部材について弾性範囲にとどまること。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:07	臨界防止機能は維持され则认为ます。
0:16:10	さらに、
0:16:12	マンホール部に生じる応力は、
0:16:24	道路と、
0:16:25	荷重が作用しても、
0:16:27	特定兼用キャスクの安全機能は維持されると。
0:16:33	次のページに参りまして第6条竜巻。
0:16:37	評価です。
0:16:39	基本方針及び荷重及び
0:16:42	許容限界について、
0:16:44	ストーリーであります。
0:16:49	下の表で機能時評価、やはり閉じ込める。
0:16:52	防止さえ、
0:16:54	米津。
0:16:58	要は、
0:16:59	示す通り、当協会、
0:17:03	宇和フーズ
0:17:08	ホーム
0:17:10	飛び込み
0:17:13	防止について、
0:17:15	社員、
0:17:25	講師木野。
0:17:27	兵藤。
0:17:36	次のスライド。
0:17:38	そして、
0:17:40	第6条関係、
0:17:47	13、
0:17:49	風、圧力
0:17:52	計算される資金、
0:18:01	表にあるような荷重、
0:18:07	飛来物による衝撃荷重、
0:18:09	これは先ほど来、
0:18:15	の方も、
0:18:18	飛来物の圧縮強度は無視して保守的
0:18:23	です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:27	同じ衝撃荷重の計算を行い、
0:18:32	次のページに、
0:18:36	③の続きですが、設計飛来物による衝撃荷重、
0:18:40	計算結果を示します。
0:18:42	告示に示された飛来物のどの種類。
0:18:46	5種類ありますが、それぞれについて、
0:18:52	衝撃
0:18:53	荷重を計算しましたところ、
0:18:59	へ。
0:19:00	方向の荷重が最も大きいと。
0:19:05	④複合荷重として
0:19:09	勝又中は風圧力による荷重、
0:19:15	及び設計飛来物による衝撃度を含めました荷重とします。
0:19:20	その結果をする。
0:19:22	表に示しますが、
0:19:24	当期の水平方向の複合
0:19:26	で8.54。
0:19:29	それがニュートン
0:19:30	アース
0:19:35	で次のページに参りまして、
0:19:38	第6条の
0:19:41	規則への適合性のところで、制定、
0:19:50	水泳方向の荷重
0:19:53	差イソダ
0:19:55	計算を行い評価を行い、
0:19:58	右の図は、バスケットの
0:20:03	鳥瞰図と、片手断面図で鉛直方向、
0:20:07	竜巻荷重が作用。
0:20:16	横尾コウノ。
0:20:17	オチから
0:20:21	一番下の部分
0:20:26	次のページに参りまして、
0:20:27	今度は水平方向に竜巻荷重が作用。
0:20:33	評価。
0:20:35	左の図は

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:41	10 水平方向の竜巻荷重は、
0:20:44	かかった場合、二つの
0:20:49	建てか中、
0:20:51	飛来物による荷重、
0:20:54	東部に、
0:21:02	不破君が、
0:21:04	右側の図の中のまた右側に示しますように、
0:21:07	静的な力学系と、
0:21:08	形として、
0:21:10	1 割、
0:21:12	網下が固定されたところに、
0:21:14	荷重が、
0:21:20	お示しします。
0:21:22	それを受け持つ。
0:21:25	面積は、
0:21:26	後ろに中空円筒の、
0:21:29	絵を下に書いてありますが、そのうちの、
0:21:41	真ん中のところ、
0:21:44	クリーム
0:21:45	断面積を
0:21:48	考えます。
0:21:50	美馬あんずは、水平方向の、例えば
0:21:54	作用する様子を決め、
0:21:57	左側の右側の図の左側の
0:22:00	図は、
0:22:04	バスケット
0:22:05	の、
0:22:07	90
0:22:09	0 度 90 度を、
0:22:11	方向の、
0:22:14	更新に対して、
0:22:16	上から、
0:22:17	この図では上から荷重がかかるような状態を示します。
0:22:22	エミ願図は、45° 傾いた方向から採用する場合の交付
0:22:29	様子を示していますが、保守的なのはこちらの左側の図で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:34	090 度に方向を持った。
0:22:37	バスケットの更新。
0:22:39	上から水平方向の、
0:22:42	二つ目たちがある場合が最も保守的だとか、
0:22:47	その下の図は、聞かないです。
0:22:50	横内の事務部を構成するhpmですが、
0:22:54	尾上木部
0:22:55	そして、
0:22:59	荷重が悪かったってかかるとき、
0:23:01	様子を示しております。
0:23:05	次のスライドに参りまして、
0:23:09	さらに水
0:23:18	うん。
0:23:21	形で、一番最もを助け、
0:23:24	オノ、
0:23:25	荷重が最大
0:23:26	荷重がかかるケースを示します。
0:23:28	すなわち、燃料集合体が、
0:23:31	五つ建てかえ
0:23:36	荷重がかかる状態を示します。
0:23:39	今日会期はその
0:23:42	駅ビルがバスケット職場に、
0:23:45	交差するところ
0:23:51	14
0:23:51	を使うと。
0:23:53	弾性範囲内であることを評価している。
0:23:57	右側の図は、同じ水平方向の竜巻荷重がかかったときにコーナーエレメント。
0:24:03	の応力状態を評価したものです。コーナーイベントとは、
0:24:07	この右側の図に示しますように、
0:24:10	燃料集合体の講師の、
0:24:12	この図では左側のやや3、3 角の
0:24:16	形をしたところ、
0:24:18	ある部材になります。
0:24:22	長さ 215 ミリのもので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:26	そして上の方から
0:24:33	校内イベントに発生する応力は 20MPaと計算され、
0:24:41	次のページは、これらの計算結果をまとめた表になります。
0:24:48	評価部位としまして、
0:24:50	評価
0:24:51	をそれぞれ、自治豚密封シール部、
0:24:54	一次、
0:24:59	示す通りです。
0:25:00	それから、
0:25:03	評価項目 1 時間高力とか曲げ応力、
0:25:06	それぞれ、それから評価基準ほとんどが $S_y$ になりますが、
0:25:11	どうだけ
0:25:13	$S_y$ 。
0:25:16	大場ルート 3 という
0:25:19	臼田
0:25:21	これらはいずれも弾性範囲内の結果を示しております。
0:25:26	主査の方が、バスケットについて同じようにhpm校内イベントバスケット側、
0:25:33	評価をしたもの
0:25:35	と同じような評価。
0:25:39	項目風化評価基準、この場合はすべて $S_y$ 。
0:25:43	なりますが、いずれにおきましても、弾性範囲内であること。
0:25:48	評価しています。
0:25:50	表の下ですが一次部隊横ずれについても評価していて、
0:25:56	慣性力、
0:25:57	に対して、
0:25:59	イシイ部との摩擦力が大きいので、
0:26:01	一次蓋は横ずれしないという評価結果を示しています。
0:26:06	これらの計算結果と評価基準との比較から、
0:26:11	竜巻荷重が作用しても、密封境界部に生じる応力は、
0:26:15	弾性範囲内にとどまり、
0:26:17	また、一次蓋の横ずれは生じないことから、閉じ込め機能は維持されます。
0:26:23	バスケットに生ずる応力は、シミズ燃料を直接支持し、
0:26:28	あと燃料間距離を保つために、変形を許容しない部材について、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:33	音声は
0:26:39	かなり、
0:26:47	佐伯のは、伊佐。
0:26:52	以上で
0:26:53	ワーポイントの資料説明を終わります。
0:26:59	はい。
0:27:00	規制庁松野です。
0:27:02	いや私の方からいくつか記載の確認をしたいと思うんですけども、
0:27:08	まず、
0:27:09	パワポ資料の、
0:27:13	10 ページ目から、
0:27:19	13 ページ目にかけて、
0:27:22	それでその規則、
0:27:25	事項に対して、
0:27:27	設計方針が記載されてますけども、
0:27:31	これ申請書の書かれている設計方針とこれ整合とれてますか。
0:27:40	そうれ
0:27:42	14 ページ名で、
0:27:49	広い評価があるんですけども、
0:27:52	ここで、
0:27:53	臨界防止機能として評価対象が、
0:27:57	のバスケット
0:28:00	と括弧書きでこう、
0:28:02	部材構成部材、
0:28:03	書かれているんですけども、
0:28:05	前回、
0:28:06	地震のヒアリングの時に提出していただいたこの
0:28:12	資料で、
0:28:13	このバスケットの構造は、
0:28:17	ここに書かれてある。
0:28:18	構成部材の他に、そのエグセグメントとか、
0:28:24	そこは、
0:28:25	評価対象にはならないんですか。
0:28:35	インターロック機能です。
0:28:40	あと運用管理、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:59	14 ページ目にあるこの注意書きのこの直接支持していうところで、
0:29:05	テックス
0:29:08	対象ではない。
0:29:14	場合にある燃料体っていうのは、
0:29:22	このエッグセグメントがなくても、
0:29:26	使用済み燃料は、
0:29:28	指示はできるんですかこれ。
0:29:30	なかったらそこは、
0:29:33	公道上それはどういう状態か、ちょっと、
0:29:37	具体的に
0:30:11	バックセグメントの手前にこの
0:30:16	Hビームっていう板が挟んであるっていう。
0:30:25	前回の地震時の資料、
0:30:28	図の 5 のバスケットの構造観も見てるんですけども、
0:30:42	左側の
0:31:10	わかりました。
0:31:19	ちょっとその点、私も確認したかったんですけど資料 1-3 の、
0:31:26	14 ページの
0:31:30	同じ図があるんですけど、
0:31:39	14Dか括弧 2、
0:31:42	No。
0:31:43	文章のちょっと、
0:31:46	をとって
0:31:50	ちょっとそれをちょっと確認したかったんですけど、これは読み上げてもいいんですかこれは、
0:32:01	もう、
0:32:11	文章はいいですか。
0:32:13	はい、じゃあ、文章をちょっと読み上げさせていただくと、
0:32:17	①が使用済み燃料を直接支持し、かつ、燃料間距離を保つための、
0:32:26	塑性変形を許容しない部材で、
0:32:30	S三つ。
0:32:34	②っていうのはその他のバスケットを構成する部材って書いてあるんですけど、
0:32:40	②が先ほど言われてた、
0:32:42	茂呂。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:44	うん。
0:32:45	等考えていいんですかね。
0:32:49	をする。
0:32:52	11 の部材は②の部材が存在する前提で応力評価を実施する。
0:32:57	①の部材に対する、
0:33:00	評価結果が評価基準である鉱区範囲内であれば、
0:33:05	②の部材が概ね交付
0:33:08	範囲内であることが示され、
0:33:11	ていうところがちょっとこのところが、
0:33:15	①が降伏だと②は、概ね降伏範囲内っていうところがちょっとわかんなかったんですけど、
0:33:25	交通範囲内であれば、
0:33:27	カセは、
0:34:16	アノです
0:34:18	結論としては、
0:34:20	示されれば助っ人として使用済み燃料を支持し、かつ、燃料間距離を保ち臨界防止機能が維持されることを示すことができる。
0:34:29	よって本項では、丸井木野部材に対する評価を行うと書いてあるんですけど、だから①も②も、
0:34:36	この強度評価には必要なんですけど、
0:34:39	①D工区範囲内であれば、②は概ね降伏はいない、やるので、①だけでいいですっていうのを言ってるんですけど、
0:34:51	なんで、その①も②も関係あるんですけど、①が降伏範囲だと、なんで丸2が関係なくなるのかってところが、
0:35:01	ちょっとわかんなかったんですよだから。
0:35:04	校区範囲内でやると、ちょっと変形はするわけですよ。
0:35:10	へえ。
0:35:11	経由するんだけど、
0:35:14	②が一
0:35:16	あれなんですか
0:35:19	丸2で別に変形のを、
0:35:22	何ですか、荷重を支えてるわけではないってことなんですか。
0:35:27	ちょっとこの
0:35:31	ちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:35	うちだけでやりますってやればいいんですってことを言ってるんですけど。
0:35:40	何で②がいらなくなるのかってのがちょっとわかんなかったかもしれない。
0:36:16	てそういうふうに、先ほどはおっしゃってたんで、
0:36:21	そういう説明なのかなと思ったんですけどこの、
0:36:25	先ほどの資料の文章だとちょっと違う表現ですよ。
0:36:30	このだから、②は、概ね弾性、概ね降伏範囲内であるから大丈夫だったんですけど、概ねでも、降伏
0:36:41	だから、ある程度の強度が期待してるっていうふうに読めてしまうんですよ
0:36:48	だから、別に今おっしゃってたのは①で、京都型の②は全然壊れちゃっても大丈夫だっていうご説明だったと思うんですけどこのちょっと説明が、
0:37:01	概ね弾性範囲じゃないと。
0:37:03	駄目だっていうふうに言ってるように見えるんですよ
0:37:13	だからちょっと文章がですねちょっと、
0:37:17	やっぱりこの②の部材っていうのも強度にこの①を保つために何か必要な強度を有しているのか。
0:37:27	それともこれがもう全然、
0:37:29	何か壊れてしまっても、①の必要な、
0:37:35	機能というのは果たす果たすこと
0:37:38	ちょっとこの文章だけでちょっとわかんなかったんで、
0:37:41	層厚説さ、ちゃんと説明していただきたいと思います
0:38:28	丸みを保存
0:39:00	それとちょっと僕の前、
0:39:04	思ったんですけどこれ係 2、
0:39:06	この
0:39:09	012 荷重として加わる等、
0:39:15	そこはだから、変なあれですね 021 の部分が壊れる可能性があると思うんですけど、それを断層しないために、
0:39:26	②の健全だということを言い、
0:39:28	言ってるんだ。
0:39:34	碎波
0:39:50	かかる

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:55	でも逆もありえますよねだから
0:39:59	ルー2の方から②の部分が壊れて012。
0:40:06	です。
0:40:08	需要がかかる。
0:40:14	これ、これ何竜巻でした数は聞いていいですよ。
0:40:17	竜巻D。
0:40:19	こうやって、まず、胴体部分に何か物がぶつかって、
0:40:25	それ
0:40:27	中のバスケット2、あれですね力が加わるんですけど普通は導体から、
0:40:34	加わるんですけど胴体から、
0:40:37	よくあるのとあと燃料集合体が入ってるから、
0:40:41	燃料集合体の完成。
0:40:44	に寄って、逆向きにいいかですかね。
0:40:47	逆向きに、
0:40:53	はあ。
0:41:00	ですからその歌で①だけ考えると、
0:41:03	どうどうタイに何かぶつかって、集合体は関西で、その分、バースを維持しようとしてるんですけど、
0:41:13	導体の内側にある。
0:41:16	バスケットが動こうとするから、
0:41:20	だから、
0:41:23	バスケットのforビーム。
0:41:26	ビームが
0:41:28	逆向きに、あれですよ、集合体の荷重を受けるんですね。
0:41:35	だからこの、
0:41:37	ぶつかる抜き取り、
0:41:40	集合体の荷重を、
0:41:42	反力判断力を、
0:41:44	そ時に、ここ、こっちの、
0:41:49	丸井の分が、
0:41:52	逆方向ですね。
0:41:55	0の②の部分は、
0:41:58	竜巻の荷重と同じ方向に移す。
0:42:02	移るんですけど、
0:42:05	①、②の部分が①側に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:09	押されて、胴体部分から押されて、
0:42:12	動きませんよね。
0:42:15	そうです。
0:42:18	の同じ方向に、
0:42:24	アガワにある
0:42:25	タイに合わせて、その内側にある。
0:42:30	②の部分が、
0:42:33	伝えられます。それで、だから、プレイhpmとしては挟まれる形なんですね
0:42:38	集合体と。
0:42:43	②の部分に、
0:42:45	圧縮されるんですかね。
0:42:51	いやそれでやイヤー和らげる方向にいくから大丈夫だと思ってますか。
0:43:06	揚げ
0:43:07	方向です。えっとですね 22 ページの、この日左側の図を見ていただいてバスケットが円形であると。
0:43:17	今GNSが言ってるのはですねこのいわゆる青い部分はすいませんちょっと私色覚があれなんですけど、青い部分が次セグメントで
0:43:29	その平賀容子ミニコーナーエレメントというものと、あとこの名黄色っぽいんですかね、これがバスケット側板だと、で、この
0:43:38	形状が変わらなければ、
0:43:41	いわゆる燃料関係、バスケットとしての、その使用済み燃料の燃料間距離だとか、そういうバスケットの機能を、
0:43:50	維持できますよ。
0:43:52	いう。
0:43:53	ことを、
0:43:55	設計として行っております。それでおっしゃってる通り、バスケットとか竜巻荷重入ればですね、キャスクが動いて、その動きによって、バスケットに全体、
0:44:09	2 慣性力が入るということで、それについて、
0:44:15	この 00 の形状バスケット全体の形状に、このあるミイの時セグメントの部分はですね、いわゆるぎちぎちいっぱい埋まっていると、つまり
0:44:29	ちょっとこれ正確じゃないのであれですけども例えば砂みたいなものがあって全部この荷重をこうナカノ。
0:44:36	この、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:37	三つの、
0:44:38	構成。
0:44:40	いわゆる臨界防止を保っている部材に渡していると。
0:44:44	もうかかったものがそのまま渡ると。
0:44:46	いう形で、
0:44:50	あと、なんなのでこの周りの部分に変形するとかしないとかいう、この概ね弾性範囲内という記載はちょっと削除する方向ですけども、ここにはいわゆる、いちいちいっぱい埋まって、荷重をすべてこの三つの
0:45:05	HHBのコーナーエレメントバスケット側板に与えるんだという設計だという説明になります。
0:45:18	ぎっしりなんかIIスペースが詰まって、
0:45:21	そこがもう変形し、しないで、
0:45:24	内側のバスケット部分に、
0:45:27	そう。
0:45:29	エフェクトに荷重が伝わるという、
0:45:31	そういうことなんですか。
0:45:34	定性的でありますけれどもそういうすせそういうことになります。
0:45:42	うまくわかった。
0:45:44	そういうことがわかる、わかるような、
0:45:48	がいいにして、
0:46:00	規制遅延をするのでは宗カシマの説明で、
0:46:05	その臨界防止機能の今この注意書きの、
0:46:09	費用済みに直接支持しかつ燃料間の距離を保つために変形を許容しない部材、
0:46:15	定義、
0:46:17	の中に、
0:46:18	コウノエレメントってその定義入ってくるんですか。
0:46:25	はい。
0:46:28	直接というところがこんなイベントにかかっているかというお話かとは思いますが、いわゆるこの三つの部材が、臨界防止機能を担保している部材だというふうに、
0:46:41	なことで、
0:46:47	ちょっと、直接支持しているところの言葉について直接当たってないじゃないかというようなご指摘かと思っておりますけれども、
0:46:59	そこは今、定義の中に入れております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:10	あ、規制庁、松野です。
0:47:14	とりあえず、
0:47:19	うん。
0:47:20	20、パウポの 21 ページの矢印
0:47:25	オレンジの矢印の方向なんですけど、
0:47:29	これー、
0:47:30	加速度っていうのは、地震地震だと、内側も一緒に入れるから、
0:47:40	とかいうと、
0:47:42	集合体が、
0:47:44	がー
0:47:45	い井谷。
0:47:46	与える荷重と同じ方向だと思うんですけど、
0:47:49	竜巻とか津波の時って外から押されないと、内側は自分で動かないですよね。
0:47:57	この向きってこれ、これでいいんですか。
0:48:01	この加速度の青い加速度の方向と、
0:48:05	このオレンジの方向なんですけど、
0:48:08	それから後ろから押されて、
0:48:12	あれですかオレンジの方向に、
0:48:15	荷重がかかるっていうことを言ってんですか。
0:48:18	何か地震と何か違う動きのような気がするんですけど。
0:48:58	追加で、
0:49:00	ずっとあったんじゃないんですか。
0:49:04	家の中にフレンジって入らないんです。
0:49:18	止める、
0:50:03	研究は、
0:50:07	見ましょう。
0:50:54	すいません。ほですけども、
0:50:57	ちょっと
0:51:01	事業者さんの声がよく聞こえないのが一つと、今、いろいろ議論協議を聞いていると、荷重の方向とか、そういうところが非常に不明だということなんですけども、
0:51:15	単に荷重がこうかかってということできなり、要は部材の評価に書いてるんですけども、その間にどのような境界条件を置いて 9 アノ評価したから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:28	こういうことになるんですけどいう、多分その間の1枚がね、抜けてるようなイメージを持っています。
0:51:36	ですから、例えば、今龍野聞いですかね、こういうもので、こういう外荷重がかかったときに、こういうことに対する県バスケットの健全性評価を行う上で、
0:51:49	各部位は、このような支持条件のもとで例えば梁でどこを支持しててこういうふうな評価やっていますとか、そういうふうなことを言えば、ある程度りかいいが、進むのではないかなと思います。
0:52:04	先ほどの何だ、
0:52:10	Hエレメントですかねあれにしても多分、圧縮荷重だっていうことであれば、サポートは、いかないんだっていうことだと思わんですけれども。
0:52:20	例えば、
0:52:23	単純に考えれば差し込んでいるだけだったらね、要は荷重がダイレクトに全部あるHLA時、ある部分に集中的にかかるようにも思えるんですね。
0:52:35	であれば、ここはそういうふうなか、集中的な荷重がかからずちゃんと分散するんだよという説明があれば、理解が進むのではないかと考えます。以上です。
0:53:04	同GSジャパンの三枝です。今野。
0:53:09	ご指摘で
0:53:11	境界条件が抜けてるのではないかと。
0:53:20	はい。その通りです。
0:53:24	こう書いてあって例えば、
0:53:28	1例で挙げますと16ページで、例えばこう書いてあるっていうことでエイチチームとかであればこれ連続張りだなんていうのはわかるんですよ。
0:53:38	ただ、先ほどみたいに加速度の方向とか、そういうふうなちょっとマクロで見れば、どっか支えてるからこういうふうになるんであってね、このエチレンはわかります何となくね。
0:53:50	なんだけど、先ほど上向いてんじゃねえかとか、どうだ、そういうふうなちょっと指摘もあったようにちょっと
0:53:58	こちらの方で判断したんですけど、ちょっとずれたらちょっと申し訳ないんですけども、そういうことの、そういうところで、例えば、そういうところで、何となく抗議が出るような、
0:54:09	ことっていうのは、やはりポンチ絵があっけいきなりそっから何だ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:21	どういふかな、いきなり、要は材料力学式が書かれてというように感じに見えるんですけども、であれば、例えばここはこうしましたっていうことで、Zoomするなり何なりで、こういう境界条件ですっていうふうなことで、それならこの式であってんだねという説明に
0:54:40	なるのではないかなと思います。
0:54:43	先ほどちょっと集中荷重がちよっと申し上げたのは、16 ページでスタッフこんでいるようにhpmがHAメントに差し込んであるような感じなんですけども、
0:54:57	こういう構造なんだからというところと、こういう構造であれば、例えば、これなんか、
0:55:05	隙間があるようにもちょっと見えるんですけども、どっかではまっているような形でそこには当たらず、荷重が何か分散される仕組みがあるのであれば、その辺がわかるような説明しておけば、
0:55:17	先ほどの丸一井をやっておけば②はこうですよ。なぜならば荷重がこういうふうに分散するんですよ。だから、全体の、
0:55:27	例えば 270 度方向を下向きに加速度かかって、これだけの荷重がかかったとしても、面積これだけあるから問題ないんですよっていうふうな説明になるのではないかなというふうに考えます。以上です。
0:55:45	はい。現世%の三枝です。
0:55:48	どうもご指摘ありがとうございます。コメントありがとうございます。
0:55:53	荷重の分散はその通りなので、それがわかるようにちょっと表現もし可能なら、
0:56:00	はい。
0:56:00	改めたいと思います。
0:56:03	はい。よろしく申し上げます。
0:56:17	規制庁松野です。では続いて、
0:56:21	また、記載の確認をしたいんですけども、
0:56:25	パワポ資料の、
0:56:40	11 ページ目に、
0:56:46	これの確認ないガイドの確認内容の、
0:56:50	片括弧 4 なんですけども、
0:56:55	キャスクの評価は、既往の研究事例や、
0:56:59	機能確認試験等の結果との、
0:57:02	日、
0:57:07	これに対する設計方針も、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:10	確認内容がそのまま書かれてあって、行くと。
0:57:15	これ、津波も立つ並木も同じような設計方針なんですけども、
0:57:21	これ具体的に既往の研究事例、
0:57:23	あとその試験との結果との対比っていうのは、具体的に、
0:57:26	これ
0:57:35	ちょっとALM解析。
0:57:39	もうちょっと誤解されるような
0:57:43	そういうことか。
0:57:52	す。
0:57:54	そうであればそこ、設計方針としても、誤解がないように記載をお願いいたします。はい。
0:58:17	私からは以上ですけども。
0:58:19	何か。
0:58:33	です。
0:58:40	ちなみに、キー。
0:58:43	他のカーあれ。
0:58:47	これはい聞こえMaaSあよかったdす。まがいバーボンもそうなんですけど、これってあえて変えてるのか。
0:58:56	例えば、
0:58:58	補足でいいんですけど補足の資料1-2で、例えば6ページで、設置許可基準規則第五条とか、小竹菅さん。
0:59:11	Bに移って戸次オノ第五条。
0:59:15	ん方、ひらがなだ数字にしているこれあえてやってます。それとも何か。
0:59:26	特に
0:59:29	ですけれども、設置許可基準規則とか上が感じで
0:59:34	が数字で、郷が感じた、これは法令の書き方にのっかって、別記と下の方はですね、もうそれに書いてある通りに、
0:59:45	そこは漢数字とか整ってなかったのもそのまま使ったという、
0:59:50	ところではあるんですけども背弧。
1:00:05	やってる。
1:00:10	わかってやって、
1:00:32	OKです。
1:00:33	私も、
1:00:35	これはすいません。ほですけども、
1:00:39	ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:00:41	事実確認と言ったらあれなんですけども、どこかでよく
1:00:47	蓋のずれの話をされていたと思うんですけれども、
1:00:55	摩擦力よりも大きいから動かないよっていう、摩擦力がまさっているから蓋はずれないよっていうのはわかってるんですが、
1:01:08	御説明から理解したんですけれども、
1:01:13	要は何らかの飛来物が当たったときに、先ほどこちらから桜井さん
1:01:20	とおっしゃってた。
1:01:21	言われてた話なんですけども、不埒のんと。
1:01:27	へんてするような変形っていうのは考慮は要らないんですかね。
1:01:33	要は何が大事かっていうと、ガスケットと相対変位がどれだけずれるかっていう、相対変位っていうかな。
1:01:43	トータルでガスケットがどれだけコストられるかっていうことが、大事でだと思っんですね。だから、動かないとしても、その前提っていうのは、フランジアとか交代だっっていうんであればあそうですねで終わっちゃうんですけども、
1:01:57	多少なりともやっぱりこういう構造っていうのはフランジ部が大変挙動をする、楕円っていうか辺て荷重を受けて、わずかでもあるんですけども、へんてするような方向に動くと、多少なりともずれが生じる。
1:02:13	ような、か感じも印象を持っています。
1:02:18	そういうところで、例えば、かなり構造から見たら5だとは思っんですけれども、そういうものが何かそういうものを踏まえてですねちゃんと評価するっていうふうなことは、
1:02:29	必要ではないかなという感じ、印象をちょっと持っていますので、ちょっと説明で工夫していただければと思います。そういう、例えばもうほとんど、例えばそういう荷重に対して、
1:02:43	全体のそういうふうな変位というか、そういうものは影響ありませんと。
1:02:49	こういうことを申し上げてるはい。どう言うんですかね背景としては、ちょっと別のフィールドで、輸送の方でどうしても
1:02:59	密封性担保っていうと、どうしてもその
1:03:03	納付たらどれくらいひずみレベルっていう話が、三枝さんの前で言うのはとっても失礼なんですけれども、あると思うんで、その辺も踏まえてですね相対変位なり
1:03:17	要はガスケットは、ある、そのずれによって密封性に影響あるレベルを十分に下回ることを確認するというようなことが方針ではないかなという感じがするんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:29	その辺はいかが。
1:03:32	お考えかということをちょっと教えていただければと思います。
1:03:40	SJapanサエグサです。
1:03:42	おっしゃる通りこの、
1:03:44	評価では3、
1:03:48	5タイと仮定して、摩擦力と外力を比較して、
1:03:53	摩擦力大きいので、動かないという、
1:03:57	評価です。
1:03:58	実際に
1:04:01	蓋の変形。
1:04:06	輸送、
1:04:08	手づくりむしろフランジがね、扁平する、要は外力を受けたときに、よく、やはり気にするのは、
1:04:17	フランジがいわゆるオーバリング起こして、結構ずれるんじゃないのと、いうようなことをいろんなところで言われたこともありますんで、私のとき、
1:04:27	自分の自分の昔の話してもしょうがないんですけどもそういうこともちょっと言われたこともあるんで、その辺は十分に剛性持ってるから問題ないよっていうふうなところ、
1:04:40	が、応力的にね、当然弾性範囲内であるということ、概ね弾性範囲にんということとはわかるんですけども、
1:04:50	そういうところのアプローチも、は、
1:04:54	必要じゃないかなっていうちょっと印象を持ってるんですけどもいかががお考えでしょうかということですよ。はい、JNESジャパンの三枝です。
1:05:02	そのような評価、実験評価をしたことがあって、
1:05:08	衝撃による瞬間的な変形によって、
1:05:12	うん。
1:05:13	漏えいがあるかもしれませんが、
1:05:15	輸送規則でいえば、
1:05:17	その事象の前後で漏えい率を比べて、結局、
1:05:22	その瞬間的に、
1:05:24	漏れてるかもしれないですけど、その事象が終わるとまた元に戻っても らえなかったっていう声
1:05:30	議
1:05:34	話して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:38	辞書はあります。瞬間漏えいっていうのは、
1:05:41	だけど
1:05:44	輸送規則の話都在这里少々輸送規則の中でもその事象の前後で、漏えい率を比べてそ、その時は確かに漏れないんですよ、漏れるっていう
1:05:54	結果は出てこない
1:05:57	事象。
1:05:58	事象の起こってる発生中にちょっと漏れるかもしれない、そういう実験をやったことある。
1:06:04	うん。
1:06:06	それも理解しているんですけども、横ずれの場合は傷がつくっていうことで、ガスケットに縦、縦側の傷が、要はフランジのところ、よく言う、
1:06:20	機械加工面の、鋸みみたいな儀式じゃ、要はガスケットを横断するような話があるんですけども、追従する範囲ですっていうことであればもうそれであらうですかで終わると思うんですけども、その辺はいかがでしょう。
1:06:35	難しくその通りだと思います。よほどその傷が、
1:06:41	ガスケットの接触部分。
1:06:44	を横断して、
1:06:46	ついてそれが漏れいルートになるような傷がつくまで、
1:06:50	ずれるような、
1:06:53	量のずれはないと思います。それで、
1:06:58	あったとしても盗むわずかなもので、
1:07:01	回復するもので、
1:07:03	漏れい月、続くようなものではないと思います。
1:07:08	この辺はすみません、実際、
1:07:11	実験結果等、あとその違う条件の中、
1:07:14	実験ですのでこの場合に直接当てはまるかどうかとまた別途検討が必要ですけども、
1:07:21	そういう事象があることは確かですね。
1:07:26	はい。今回の荷重とか何とかから考えると、そういうことを、そういうふうなところが生じることはないので、この
1:07:37	いわゆる摩擦力と、慣性力の比較をして、相対的に動かなければ問題ないと。
1:07:46	ていう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:47	方針だっということと理解すればよろしいですか、そういう評価設計方針であります。
1:07:54	はい、わかりました。はい。すいません。ありがとうございました。
1:08:14	ちょっと私からちょっとパウポのアパートじゃなくて、補足説明資料、ちょっと
1:08:21	細かいパラメーターとか、ちょっと確認したいんですけど。
1:08:27	9 ペーまず 9 ページの
1:08:31	ざっとケース数ガスと影響係数、
1:08:34	ていうのは、
1:08:36	表とか判例。
1:08:38	今あるんですけど、
1:08:40	この資金にはないんですけど、
1:08:43	式に入れる必要はない、ないですか。
1:08:55	氏家布施%の三枝です。はい。ガスト係数は 1.0 とするということで、表 2 の脚注にお示してありますけども、
1:09:07	南條 1.0 なので、入ってきてないんだというふうに
1:09:11	しき三輪は入るんじゃないんですか。そうですね。
1:09:15	藤。
1:09:22	ちょっと確認しても、他のちょっと式を見たらん時ってのは入ってたんで、
1:09:29	111 なので省略されてるのかなと思ったんですけど、この基本式には入るんじゃないかと思しますのでちょっと確認をよろしくお願いします。
1:09:39	それと 10 ページの、
1:09:43	右したの。
1:09:46	FHAF-V。
1:09:49	ていうのは、
1:09:51	上野式とかではどれに該当するんですか。
1:10:16	FMのあれなんすか。
1:10:20	高さ方向、
1:10:22	水平方向という意味なんですかね。
1:10:26	上地ホリゾン種市で、
1:10:34	FMのあれですか、水平を、
1:10:38	水平
1:10:39	鉛直方向ということですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:42	そうだと思いますけどちょっとすいません、確認させてください。お願いします。
1:10:48	それと、
1:11:00	あとですね、
1:11:02	別紙の、
1:11:05	2 ページの、
1:11:07	Aの 2-2 の、なお書きなんですけど、
1:11:13	これは、
1:11:15	シール部農繁評価基準には一次蓋より許容度が小さい堂々の値を、
1:11:22	用いるっていうのは、
1:11:25	これは、
1:11:27	ちょっと構造があるんですけどそのシール部等シール部っていうのは、
1:11:31	一部妥当動画。
1:11:34	あれ何か接触してて、
1:11:39	許容力ワダから弱い方を選んでるっていうことなんですか。
1:11:44	はい。
1:11:46	はいそうですね。一次部隊よりも、
1:11:48	許容力が小さい動の方の値落ちる。
1:12:06	それと、
1:12:07	先ほどの別紙、C、
1:12:11	別紙の 4 ペイジーの、
1:12:16	上のなお書きなんですけど、
1:12:21	これは、
1:12:22	その影響を無視できるため考慮しないというのは、
1:12:26	三つ赤水荷重を考慮しないということですか。
1:12:33	非常に強い。
1:12:39	この応力っていうのは、ただ、あれですよ。
1:12:44	もう、
1:12:45	機械的な応力で、
1:12:48	熱荷重が、温度差がある場合の熱荷重も考慮しないといけないっていうことなんですか。
1:12:58	オノon
1:12:58	で、あれが協調が変わってくるってことなんですか。
1:13:04	ある場合は、
1:13:09	この場合小さいので無視するという考え。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:14	そのあとのまた書きっていうのは、
1:13:18	許容値は上昇して、
1:13:23	120 度、
1:13:27	勾配がないってことなんですか。温度温度差がないから温度差による応力については考慮しないということなんですか。
1:13:36	そうで。
1:13:39	蘇武瀬賀
1:13:49	わかりました。はい。
1:13:50	あとその下の表の数値の枠、枠囲みのところなんですけど、これみんな
1:13:58	他のところもそうなんですけど、
1:14:03	ここの数字っていうのは、何かの見なれ地になるのかそのコース公差、
1:14:09	を考慮した数字なのかっていうのがちょっと、
1:14:12	わからないんですけど、何かそれちょっと違う数字は読み上げないんですけど、
1:14:19	そちゅ
1:14:20	すごい細かい数字になってるんで、
1:14:28	ご質問は、この数字がノミナルな値か。
1:14:34	公差を考えた値か。
1:14:40	ということですよ。
1:14:42	その中、
1:14:43	多分ここ高さを考慮しても私だと思んですけど、それであれば、そのノミナルでプラスプラマイで、
1:14:51	こうなりますっていうのを、
1:14:53	わか分かるようにしてもらいたいと思います。
1:15:04	その他の他のところも同じです。
1:15:10	はい、JNESJapanサエグサです。了解しました。
1:15:13	それと次の 6 ページの上の文章で、
1:15:17	2 行目なんですけど、
1:15:20	水平方向の慣性力では一次蓋密封シール部の応力が発生しないことから書いてあるんですけど、
1:15:29	この幹線、
1:15:32	勢力で応力が発生しないというさっきのずれみたいなある、あるわけですよ。
1:15:38	これは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:40	だから、竜巻が来ぶつかったとき、竜巻によってさ、採用したときに、
1:15:47	水泳方向の慣性力ではっていう、ちょっとこの部分がちょっとわかんなかったんですけど。
1:15:58	ちょっと地震だったのかというと同時に入れるんですけどこの負担の部分だけ当たって、蓋の部分だけに圧力がかかって、負担の部分だけずれるっていう、
1:16:10	こういうことは考えなくていいのかっていうことなんですけど。
1:16:18	まず、この
1:16:36	わかりましたじゃ向上ということですか。
1:16:40	そうであればちょっと構造上とか、
1:16:43	そういうのがわかるように、
1:16:46	してもらった方がいい。
1:17:09	それとですね殊、
1:17:12	13 ペイジーの
1:17:18	53 ページの、
1:17:22	ちょっと下の方の
1:17:26	このフィルムの部分の、
1:17:29	話なんですけど、
1:17:31	これはだから、フィンの表、下の 2 から 2 行目のピンの表面積っていうのは、これは、
1:17:40	どう横から見たときの面積ですか。
1:17:47	全部の面積のうち 2、
1:17:50	エンジンがぶつかるのは、1、
1:17:54	0
1:17:56	なので、
1:17:58	4%なんで、何、どうなのかっていうのがちょっとわかんないんですけど、そや。
1:18:10	ここが考慮されるんですか。
1:18:15	ちょっとそこは何か、
1:18:18	何か足せないですか。ここの 4%部分というのは、
1:18:22	米津のところで功労されるとか、
1:18:37	ちょっとこの
1:18:38	だから何もしなくていいっていう、
1:18:42	止めてしまったんで、
1:18:45	あとですねちょっと授受 16 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:49	これちょっと大体わかったんですけどbポツの最初の、
1:18:54	2行というのは、00台以外の採用方向では、荷重が分散されるっていうのは、
1:19:02	下にある図でいうと270度とかっていうと、降雨、浅学で分散される。
1:19:10	だけど、この0°方向というのは、
1:19:14	ページのことを言ってるんですかね
1:19:17	ペイジーのところだと、直接、
1:19:20	hpm2荷重がかかるから分散されないってことを言ってるんですか。
1:19:39	はい。野瀬。
1:19:55	駅
1:20:00	全体される。
1:20:15	数が
1:20:34	すいませんこの16ページのこの文章っていうのは、
1:20:40	橋野説明をしてると思うんですけど、
1:20:43	この
1:20:44	は、8に示す水平加速度0度の
1:20:49	作用方向でっていうのは、
1:20:51	0度の採用方法でっていうのはどういうこと。
1:21:01	この、この採用方法というのはこの下の図の青い矢印の方向でいい。いいですか。
1:21:13	ちょっとこの2行が、
1:21:16	わかんなかったんですけど、185名。
1:21:27	それでなんかちょっと僕はその20ページの話をしているのかなと思ったんですけど。
1:22:49	すいません、これはちょっと、
1:22:56	お願いします。
1:22:57	あと、
1:22:59	最後ですけど、20
1:23:01	この2行もちょっと
1:23:05	どういうふうに読んでいけなかったんですけど、ここの、
1:23:08	市中央部との面積を比較した場合に、
1:23:14	接触面積が小さいためバスケット側板の他の市の評価を包絡するっていうのは、
1:23:22	どれを比較してるのかっていうのが、
1:23:24	わかんなかったんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:23:31	講師中央部との面積っていうのどこのことを言ってるんですか。
1:24:21	原燃佐田です。こちらは、
1:24:25	この
1:24:26	図のA-11の今、バスケット側板の評価をする上で、
1:24:33	見えますかね。黄色い薄い板、
1:24:36	我慢、
1:24:38	それに燃料集合体載っている箇所。
1:24:41	を評価するよりも、
1:24:43	このH
1:24:45	ビームが突き刺さってる部分。
1:24:47	から繋がる上の部材と、燃料の荷重半分、それぞれ左右半分で全部1234個分を受ける箇所、
1:24:58	の断面積が
1:25:01	1形状とか何かいたが、
1:25:03	薄板分2枚ぐらいで支えるような部分で接触面積が小さいので、
1:25:09	燃料集合体載っている中央の部分を評価するよりも、この部材が、
1:25:15	突き刺さってる簿部分の方が大きいのでここを評価しますと、
1:25:20	いう内容です。
1:25:27	一番下のTGの
1:25:29	この
1:25:31	ところで評価するということ言ってるんですか。
1:25:35	の横バーじゃなくて、この下のところっていう。
1:25:41	ことを言ってるんですか。
1:25:47	減免制度でそのT字の足の部分、足の部分が当たっている箇所の、
1:25:55	バスケット側板側、
1:25:58	を評価していると。
1:25:59	その講師中央部との面積を比較した場合にっていうのは、
1:26:04	ちゅ工事中央部っていうのは、このT字のこの横ば、
1:26:11	と比較した場合ってことで、PGの横バーではなくて
1:26:16	一番この下の、
1:26:19	ちょっとキー黄色っぽい。
1:26:22	薄井いた。
1:26:23	薄井佐治セグメント、
1:26:25	怒涛の境界部分に薄板があって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:29	燃料集合体に乗ってるここを評価するよりも、ホアシが突き刺さってる箇所の評価の方が、
1:26:37	面積的にも小さいしか上もおっきいのでこう評価します。そうしたらちょっとその前のページに色での説明があるので、
1:26:46	その黄色部分とか、何かちょっと書いてもらってもいいですか。
1:26:56	それはそれが矢印引いてもらうとか。
1:27:05	なるべくちょっとわかりやすく、どこの場所を言ってるのかなと黄色、ちょっと黄色部分もよく見たら黄色があるなっていうのが、
1:27:15	わかったんであと黄色が何を表してるかっていうのもちょっとわかるようにお願いします。
1:27:22	現実、
1:27:24	全スパンサエグサです。
1:27:26	色を工夫したり、
1:27:28	それから場所を、
1:27:30	明確にわかるように、
1:27:33	表現をちょっと工夫します。
1:27:48	規制庁松野ですちょっと私から1点補足説明資料で確認させていただきたいんですけども、この津波の補足説明資料の10ページ目に評価フローがあるんですけども、
1:28:01	恒例のその評価項目が、そのキャスクの応力の組み合わせ、
1:28:08	だけ。
1:28:10	書かれてるんですけども、
1:28:12	これ、評価項目としては、組み合わせ以外に、
1:28:17	キャスク能力、
1:28:19	能力の強さっていうのも多分評価項目にある。
1:28:30	そこは追加。
1:28:32	する必要あるかと思えますけども、いかがでしょうか。
1:28:38	JNESジャパンの三枝です。今おっしゃられているのは、
1:28:42	補足説明資料1を1-2の津波、
1:28:47	10、
1:28:48	11、
1:28:49	No。
1:28:50	評価フロー。
1:28:52	おい。
1:28:53	左の方の流れの中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:56	評価項目として特定キャスクの応力の組み合わせと。
1:29:00	あるところ、
1:29:02	さらに何か、
1:29:04	効力があるので、
1:29:07	評価項目として応力の組み合わせだけで、
1:29:11	問題ないですか。
1:29:14	實際上、
1:29:15	適切ですか。
1:29:36	あとその上の応力計算なんですけども、
1:29:40	これ
1:29:42	図の1のこの評価フローは、
1:29:45	後段の型式指定でも、
1:29:48	この日、
1:29:50	照明で受けた、この評価フローに沿って、
1:29:53	従って評価をしていくわけなんですけども、
1:29:57	これ計算コード安波賀さん用い、
1:30:00	ないんですか。
1:30:01	型式指定でも、
1:30:05	話規定の時はちょっとまだそこ
1:30:08	を研究していただく。
1:30:10	今、
1:30:11	話。
1:30:12	表明のところ。
1:30:14	での話で、
1:30:17	照明はどっちかっていうと
1:30:20	設計方針その評価フローのそのやり方、方法、
1:30:25	見える。
1:30:26	ところなので、
1:30:28	当然、
1:30:29	型式指定の段階では、多分、補証明で審査した評価フローに沿って、
1:30:36	評価をしていくんですけども、
1:30:40	そこでもうあえて嘘の解析、その指定の段階で、
1:30:45	応力計算として、
1:30:47	解析コードを用いるのであればもう今のこの段階で、ちょっと明確にしと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:54	べきかと思うんですけども。
1:31:00	多分そこは先行。
1:31:03	うん。例を見ていただくと、
1:31:06	メーカーもそこは明確になってるかと思う
1:31:09	ので、
1:31:12	わかりました。
1:31:17	思ったんですけどABAQUSやってなかったら賞なんだろう。変な話他社より少ないですよ。少ないというか、応力評価式まで計算とかでやれますって言って、
1:31:29	だけどJNESは爆発での評価してないんだけど、
1:31:34	もう適合していたら、
1:31:37	型式証明は取れるんですかね。
1:31:44	そう思って持ってきてるってことですね。
1:31:47	この段階では、はい。池。あそこ。
1:31:52	これからやるってことなんですかね。
1:31:56	確か証明の申請の中で、
1:31:58	いや、もう申請の中では、多分もう出してないからやる気がないのは、んだなあと思うんですけど。
1:32:05	指定になって、
1:32:06	になってから出すってことですか。
1:32:15	やるのかやらない。
1:32:57	はいはいはいはい。
1:33:09	うん。
1:33:18	前例踏襲って嫌いですけど。
1:33:22	役所によくある変な話先行他社ほぼほぼ全部をアバカスやってるんだけどJNESだけやってない。
1:33:31	じゃん。
1:33:32	じゃあ、証明からやっぱり補正なりして追加してよっていう指摘もなきにしもあらずなんですよ。
1:33:39	そうなった場合、ABAQUSコードとかってつか、ABAQUSにはなると思いますけど。
1:33:46	可能なんですかね。
1:33:51	えっとですね、まずABAQUSコードは、
1:33:55	GNSは使ってなくてですね、暗室コードを使います。
1:34:01	コード自体が違いますので、はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:05	そこでもし使うという話になれば暗室コードを使うことになってその適用性の説明をすることになるということに、
1:34:13	なります。
1:34:15	温室コードって私あんまり解析コード詳しくないですけど、これで許認可、この日本とかで輸送とか貯蔵とかで使って、ウインカーなり証明なり取った実績ってあるんですか。
1:34:33	アノは、
1:34:34	ここですけれども、
1:34:36	一般的にはというか原子力の業界全体という意味では暗室コード、暗室でもメカニカルだとかフルタとかありますからマツノメカニカルのコードは使われた実績があると。
1:34:47	思っておりますけれどもそのキャスクの世界の機械構造設計で使われたというのは国内ではおそらくないですけど海外では、あるはずですよ。あるはずというかあります。
1:35:24	あまり、
1:35:57	まだまさにそこが、最初のパウポのっていうところで、
1:36:03	説明がありましたけど、
1:36:09	ページで言うと、
1:36:12	あれですかね
1:36:14	11 ページのところ、これを
1:36:18	ガイドでは、こういう審査ガイドコウノ。
1:36:21	確認することになってますので、企業の研究事例とか、まゆ
1:36:28	評価と、
1:36:29	いうところなるかっていうことを、
1:36:32	確認するんですけど設計方針としてはそこでやられますっていうふうに書いてあるんで、
1:36:39	それがもうここで横領効力評価式だけでいいんですっていうんであれば、
1:36:47	そういうその妥当性を確認するってことになりますね。
1:36:52	型式指定指定の段階も含めて、それでいいのかっていう。
1:36:56	だから 7 ページNoところの、
1:36:59	回答が、
1:37:01	その応力評価式を用いるっていう、もう言い切っちゃってるんで、
1:37:07	これガーダカラーアノこオクちゃんと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:11	型式指定の段階では、こういうFM解析とかをやるんだけど、この型式証明の段階では、その妥当性評価を、6、6 評価式でやるとか、そういうことであればそういう、
1:37:25	わかるようにしてもらった方がいいと思います。今ちょっと一見矛盾したような説明になってると思いますので、
1:37:33	お願いし、
1:37:40	じゃないですけど、
1:37:42	FEM解析に基づく抗力評価そうなんだけどでもFM解析やりますよみたいに見えちゃうから。
1:37:50	11 ページも何か。
1:37:52	表現としては、
1:37:58	注射パンサー優先す。これは多分、松尾様から最初の方でご質問があって確認の、私は川崎ショウガン常盤ホール評価式だけでやってるというふうにお答えさせていただいて、
1:38:29	規制庁マツノ、いずれにしる、そのときの段階で、解析コードの適用妥当性というところを見ることになりますので、
1:38:39	ちょっと1度、持ち帰って検討していただいて、
1:38:42	また回答いただければ、
1:38:46	サエグサs了解しました
1:38:53	オザキですけど、すいませんもう1項の津波の、
1:38:57	資料1にちょっと1点だけなんですけど、
1:39:03	11 ページから 12 ページに、
1:39:07	上げてこ色式とか、
1:39:10	ズーツとか載ってるんですけど、ちょっと他、例えば 11 ページのHC。
1:39:18	HCというのが公式では、
1:39:21	出てくるこないんで、
1:39:23	ずれわあ出てくるんですけど、
1:39:25	ちょっとこれちょっと、
1:39:29	この凡例と式等、この図、
1:39:31	ちょっと記号をちゃんと使われてるかどうかとか、その関係とかですね。
1:39:37	そういうのをちょっとチェックしてもらいたいと思います。あと、この 11 ページの、
1:39:42	zアノー式でずっと
1:39:46	二条-Z1 事情、
1:39:50	(3)ですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:52	小令和、
1:39:54	1つ-Z1の、括弧の事情じゃない、ないんですかね。
1:40:02	確認してもらえますか
1:40:04	これ、これで良いのかですね。
1:40:34	そうですね。おそらくいる図を見ると、HCというのはZII-Z1のことをイシイと言ってるようなので、
1:40:44	ちょっとHCの事情だったら、多分、過去、
1:40:49	括弧の事情になると思うんで、
1:40:52	ちょっとパラメーターとあれですねその式と、
1:40:57	図を確認してもらいたい。
1:41:00	いたしました。ご指摘ありがとうございます。
1:41:10	マスキング外してもらいたいところがあるんですけど、
1:41:13	津波の補足の12ページの表1の、
1:41:19	中、中厚めの最大高さを受圧面の幅、これって多分先行他社出してるので、
1:41:28	多分出せると思うんですけど、
1:41:31	検討していただけますか。
1:42:07	ですジャパンの三枝です。一応これはJIS内部の
1:42:12	ルールに基づいて、マスクしてるんですけども、今の
1:42:16	ことで、
1:42:18	反省
1:42:19	させるかどうか、ちょっと内部で検討させて、
1:42:35	計算
1:42:37	キーがあってその下の中谷数字を画数してはいるんですけど、
1:42:44	あそこはいいですけど、その一番下の一時、
1:42:48	豚密閉シール部の事故方向をよく以下の通りとしたっていう。
1:42:54	ここは多分出せるんですよ。
1:42:57	なんか、出せるところは出して欲しいんですよ。
1:43:02	ここも検討してもらっていいですか。
1:43:10	そうそう。
1:43:17	式は本当は向井はこんなに隠すんだったら書かなくていいかなと思って るぐらいですけど。
1:43:23	投票の4の上、
1:43:26	の資格、
1:43:28	MPaのところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:41	効果とかで、
1:43:43	どう、
1:43:45	どう野中一部としてフィンがあるからどうだけでいいんだって説明して ますよね。そう評価する。
1:44:12	学校、
1:44:14	衝突しても壊れないで、除熱だとか、
1:44:18	江藤が、
1:44:21	担保されればいい。
1:44:24	そうなんですけど。
1:44:26	項目としてないからあれって思ってちゃんと読むと、
1:44:30	動の中に、
1:44:31	の一部なので、フィン品はどの、
1:44:36	一部なので、
1:44:38	胴の中に、
1:44:40	どうで評価しますってあるんですけど、そういう評価の考え方。
1:44:45	項目立てはしないってこと。
1:44:48	何ですかね。
1:44:50	土谷丹野さん。
1:44:53	そういうことは、内部でも議論あった。
1:44:57	後は
1:45:02	この場所で、
1:45:04	変な話もした方がいいと思って書いていて、
1:45:22	わからない。
1:45:24	感想があると思う。
1:45:45	津波とか竜巻ってそれ自体がこう来て、キャスクに衝突しましたよってそ れ自体の筒とか、避難して、
1:45:55	その側面についてるであろう品とかが壊れない、いいよっていう、
1:46:00	説明をするのかなと思って童話されてますよね。
1:46:05	でも、
1:46:07	壊れても、うんしでるしてるデーピーはその中の一部っていう考え方な んですよねっていう。
1:46:16	なので除熱は除熱でやってもらってよくて、今回の機能維持評価小、
1:46:22	結局、
1:46:23	先行当社で言ったら大体アノ欠損しないとか壊れませんよ。
1:46:27	フィン自体も、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:46:28	言っはいるんですけどGNSの場合は品は銅の中の一部として考えるから動画壊れなきゃいいよって言っちゃうなんだからこう包含しちゃうって考えでいいですか。
1:46:40	原燃
1:46:42	設計のコンセプトが違って他社が言っているフィンっていうのは、
1:46:50	レジのところ、
1:46:55	熱品、
1:46:59	このGNSキャスクの場合は、アノちゅ鋳鉄に穴が開いてって、その
1:47:05	繋いでる部材結構分厚い普通にの鉄がそのまま繋いでるので、
1:47:13	麻生丸井房と丸井房の間の部分は全部鉄なので、あそこは壊れないことはどうの評価。
1:47:22	説明ができるよ。
1:47:23	その一方でGNSのキャスクの場合は外側に小刻みなフィンがついてて、これはどうしてもぶつかったら壊れる。
1:47:33	そうどうしても潰れるので、
1:47:37	他社と評価している。
1:47:39	がちよっと違うというか小関のコンセプトが違うので、記載の、
1:47:44	内容が下違ってしまっているということで、
1:47:49	そのように理解してます。
1:47:58	そこですけども、そして今ご指摘の点はフィンの変形を評価してないんですかという話は、
1:48:05	ページ、資料 1-3 の、
1:48:08	添付のページ、1-13 ページですかね、先ほど戸ヶ崎さんが、
1:48:14	除熱の追記をするといったページに、
1:48:19	書かせていただいている内容以上は書いておりません。
1:48:38	子は、多少、
1:48:41	ちゃう。
1:48:43	除熱できれば、
1:48:49	ところですけども、基本的には、これ、今 4%という話を出していてもちろんこれ以上のいわゆる品が、
1:48:58	ない場合の、
1:49:01	いわゆるファクターみたいなのですね、考慮した除熱評価を行っているということで、
1:49:08	こういう書き方となって、
1:49:11	おります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:16	よくわかんないんですよ。
1:49:18	4%でいいのかどうかだとか、そこら辺の物量感がよくわからなくて何かこう自信持ってこられると、Aってなるんですけど、そこら辺のところは、除熱の補足説明資料で、
1:49:33	明確
1:49:35	です。
1:49:41	ほぼ、
1:49:55	規制庁マツノです。
1:49:58	一応これでヒアリングの事実確認は終了したいと思いますけども、これから何か。
1:50:06	全体通じてコメン
1:50:09	アノ受熱のところ、この書き方はこうなのかなというのがちょっと、悩ましいですねという感じはします。
1:50:18	要は、そこを前提として例えば、一部に4%か何%かし、あれですけど欠損するけども、米津では、それを見込んだことをやってるってということ。
1:50:32	を書くのかなという、ちょっと今気がしました。ですからその辺の適正化っていうことは、ちょっといろいろご検討いただければと思います。以上です。
1:50:51	加来監事、それから、
1:50:53	これをそれを見込んで、情熱ホール、
1:50:56	季節、
1:51:01	もう少し表現を工夫させていただきたいと思います。
1:51:07	規制庁松野です。ではヒアリングはこれで終了します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。